

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和08年01月20日

計画の名称	安全安心な暮らしを支える立川市下水道 第3期 (防災・安全)											
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	立川市											
計画の目標	快適な生活環境が持続でき、災害に強い下水道を市民とともに目指します。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,394	A	1,394	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R4末)	最終目標値 (R6末)
1	下水道ストックマネジメント事業に基づき管路施設の点検・調査を実施し、管きよの破損等による道路陥没事故や下水道機能の停止を未然に防止する。 下水道ストックマネジメント事業に基づく管路施設の点検・調査実施率(%) 管路施設の点検・調査実施済み数(地区)/計画数(44地区)	0%	52%	100%
2	下水道ストックマネジメント事業に基づき管路施設の改築を実施し、管きよの破損等による道路陥没事故や下水道機能の停止を未然に防止する。 下水道ストックマネジメント事業に基づく管きよの改築実施率(%) 管きよの改築実施済み延長(km)/計画延長(4.0km)	0%	0%	100%
3	下水道ストックマネジメント事業に基づき人孔鉄蓋取替工事を実施し、鉄蓋の摩耗によるスリップ事故等を未然に防止する。 下水道ストックマネジメント事業に基づく人孔鉄蓋取替工事実施率(%) 人孔鉄蓋取替工事実施済み等(箇所)/計画数(480箇所)	0%	50%	100%
4	下水道ストックマネジメント事業に基づきポンプ施設の長寿命化を実施することで、下水道機能の停止を未然に防止する。 下水道ストックマネジメント事業に基づくポンプ施設長寿命化対策実施率(%) 長寿命化対策実施済みの設備等(箇所)/長寿命化対策を実施すべき設備等(28箇所)	0%	54%	100%
5	雨水浸透施設の設置助成を行い推進することで、地下水のかん養を促し、健全な水循環の保全及び雨水の流出抑制を図る。 新世代下水道支援事業に基づく水環境創造事業(水循環再生型)として行う雨水浸透施設設置助成件数(件) 雨水浸透施設設置助成件数(件)/雨水浸透施設設置助成目標件数(44件)	0%	45%	100%
6	下水道ストックマネジメント事業に基づく管路施設の調査結果から修繕・改築計画を策定し、管きよの破損等による道路陥没事故や下水道機能の停止を未然に防止する。 下水道ストックマネジメント事業に基づく管路施設の修繕・改築計画策定率(%) 管路施設の修繕・改築計画策定数(地区)/計画数(3地区)	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
立川市下水道ストックマネジメント計画												



事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
1. 一次評価：立川市環境資源循環部において事業の実績表を作成し、目標と照らし合わせ定量的指標の達成状況を明らかにする。 2. 二次評価：定量的指標の達成状況を明らかにする。 3. 二次評価の結果を事後評価書に反映する。	令和8年3月
	公表の方法
	立川市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道施設全体の老朽化の状況を考慮し優先順位付けを行ったうえで、施設の点検・調査、修繕・改築を実施し、下水道施設全体を対象とした施設管理を最適化することに寄与した。</li> <li>・雨水浸透施設助成事業を進めることにより、宅地内の浸透施設設置を促進することに繋がり、下水道に流れる雨水を減らし、浸水被害の軽減を図ることに寄与した。</li> </ul>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も引き続きストックマネジメント計画に基づいて施設の調査、修繕・改築を実施していくとともに、雨水浸透施設助成事業を進めていく。</li> </ul>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
2	最終目標値	100%
	最終実績値	10%
当計画策定当初は管路調査業者の緊急度判定に基づく改築延長を目標設定したが、その後修繕・改築計画を策定し、改めて改築の要否の検討を行ってから改築を実施するよう計画を変更し、スケジュールを見直したことにより実施率が10%に留まった。		
3	最終目標値	100%
	最終実績値	101%
5箇所前倒しして取替え工事を行ったため。		
4	最終目標値	100%
	最終実績値	175%
上砂町ポンプ場の調査を2か年に分けて予定していたが、次期計画分を考慮し前倒ししてまとめて1年で実施したため目標を大きく上回った。		
5	最終目標値	100%
	最終実績値	191%
想定以上に助成申請があったため目標を大きく上回った。		

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
6	最終目標値	100%
	最終実績値	100%